保管用
よくお読みください
保証書別途

取扱説明書

電動カート

ロマンス ゴールド

KE43

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードしていただけます（http://www.kawamura-cycle.co.jp/product/manual.htm）。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご使用の際には必ず携帯していただき、必要なときにいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

6カ月に一度の点検を実施しております。
ご購入後１ケ月以内に返信用はがきにて登録していただきますようお願いいたします。

株式会社カワムラサイクル

もくじ

安全上のご注意 …… 2

警告ラベル貼り付け位置について …… 3
■絵表示マークの説明

安全に運転していただくために必ず
守っていただきたいこと …… 5
■道路を走行する前に
■走行上のお願い
■交通法規及びマナーを守りましょう

バッテリーの取扱い上の注意について … 8

バッテリーに直接触れる作業上の注意 … 8

電磁波による誤動作を防ぐために …… 9

その他の注意について …… 9

各部の名称とはたらき …… 10

各部の名称と取扱い …… 11
■表示
■操作部

運転の方法 …… 14
■乗車する前に
■乗車しましょう
■始動しましょう
■停止するときは

手押し移動の方法 …… 17
■手押し移動する前に
■手押し移動しましょう

充電の方法 …… 19
■充電をする前に
■充電をしましょう
■充電中の注意事項
■充電が終了しました

バッテリーの取扱い方 …… 22

バッテリーに直接
触れる作業上の注意 …… 22
■保管方法

持ち上げによる運搬 …… 24

安全機能 …… 25
■飛び出し防止機能
■押さえ込み非常停止装置
■過負荷防止機能
■オートパワーオフ機能
■ウインカーオートキャンセル機能
■コーナリング減速機能
■オートハザード機能
■その他の安全機能

故障かな？と思われたとき …… 26

アクセルレバーの取扱い …… 28

シートの取扱い …… 28
■シートの回転
■シート位置の調整

お手入れのしかた …… 29
■車体の清掃
■保管のしかた

タイヤの保守・点検 …… 29

定期点検 …… 30

外観・電気配線図 …… 31
■外観図
■電気配線図

主要諸元表 …… 32

静的安定性試験結果 …… 33

動的安定性試験結果 …… 33

点検・整備記録 …… 34

バッテリーに関する注意事項 …… 36

アフターサービスについて
■保証書
■補修用部品の保有期間
■電動車総合保険のご案内
■販売店様へのお願い

はじめに

このたびは、電動車をお買い上げいただきましてありがとうございました。この取扱説明書は、電動車をいつまでも快適にご使用していただくために、正しい取扱い方や、簡単な保守・点検について記載しております。

ご使用前に、ご本人様及び介助の方は、本書をお読みいただき、十分に理解したうえで、安全で快適な走行をお楽しみください。

この取扱説明書は、改良などのために、内容が一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

お客様へのお願い

バッテリーは消耗品です。

どのようなバッテリーでも、充電を繰り返すごとに一回の使用時間が次第に短くなっていきます。バッテリーの寿命の目安は、約２年ですが、坂道の多い地域では短くなる場合があります。

平坦路で前進最高速で走行しているときのバッテリーメーターのランプが3～4個点灯の状態の時に充電すれば、もっとも長持ちします。

安全上のご注意

本書には、製品を安全に使っていただき、使用者および他の人々への危害・損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容が書かれています。

ここに示した注意事項は、次のように「危険」 「警告」 「注意」に区分しています。「注意」の欄に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれの場合も安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

⚠ 危険	その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるもの。
⚠ 警告	その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負う恐れのあるもの。
⚠ 注意	その指示に従わなかった場合、軽傷を負うかまたは物的損害が発生する恐れのあるもの。

上記表中の損害の程度の意味は、各々下記の状態を示しております。

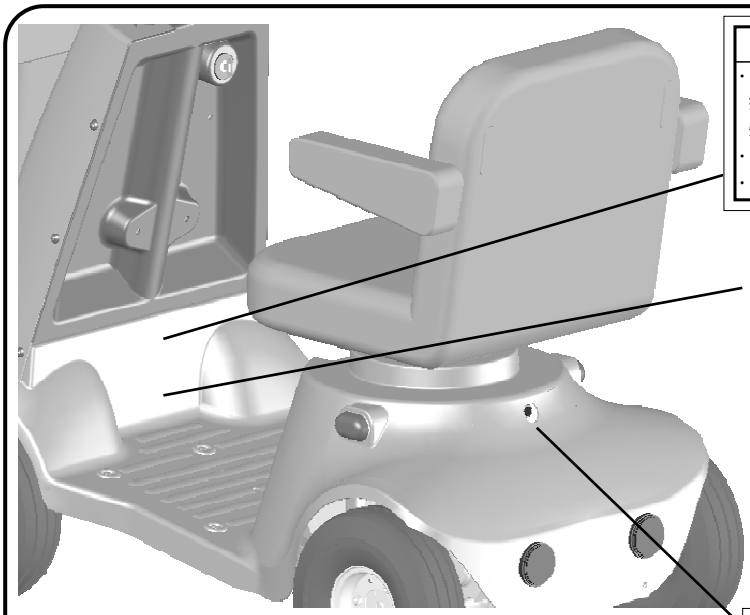
- 重　　傷　：　失明・けが・火傷（高温または低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの及び治療に入院や長期の通院を要するもの。
- 軽　　傷　：　治療に入院や長期の通院を要さないもの。　（上記重傷以外）
- 物的損害　：　家屋・家財及び、家畜やペットなどに関わる損害。ただし、電動車自体のみの損害(自損)は含まれません。

警告ラベル貼り付け位置について

以下の絵表示マークは、本書の危険事項の中から特に重要なものを、製品本体に貼り付けてあります。使用の前に必ずご確認いただき、十分に理解したうえで、使用してください。

◎　絵表示マークが見えにくくなった場合には、貼り替えるなどして常にはっきり識別できるようにしておいてください。貼り替え用のラベルはお買い上げの販売店で購入できます。

■ 絵表示マークの説明



⚠ 注意

・本体を持ち上げて運搬する際は
持ち上げ位置指示ラベル（▼）の
矢印指示位置を持つこと
・３人以上で持ち上げて運搬する
・キースイッチを「切」にして運搬する

持ち上げ位置

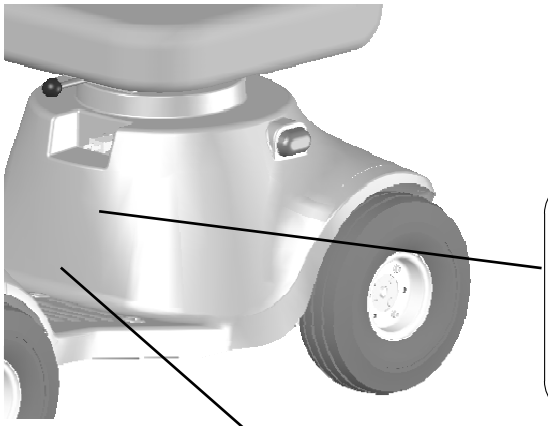
充電手順

- キースイッチを「電源切」にし、プラグを引き出して、家庭用１００Ｖコンセントに差し込んでください。
- ６個全てのランプが点滅すると充電完了です。電源はプラグを引き抜かなくても、自動的に切れます。

バッテリーを長持ちさせるための目安

平坦な地域	坂道の多い地域
走行距離が、10km程度になれば充電してください。	乗車された日は、1日1回充電してください。

注意 1. 1日何回も充電しないでください。
2. 長距離走行時は、必ず前日充電してください。



手押しスイッチ

・スイッチを押すとブレーキが解除され、５分間手押し移動が可能です
・手押し速度が速くなると自動的にブレーキがかかり止まります
・手押し移動を終了する時は、電源をＯＦＦにするか再度手押しスイッチを押します

⚠ 注意	坂道では使用しない

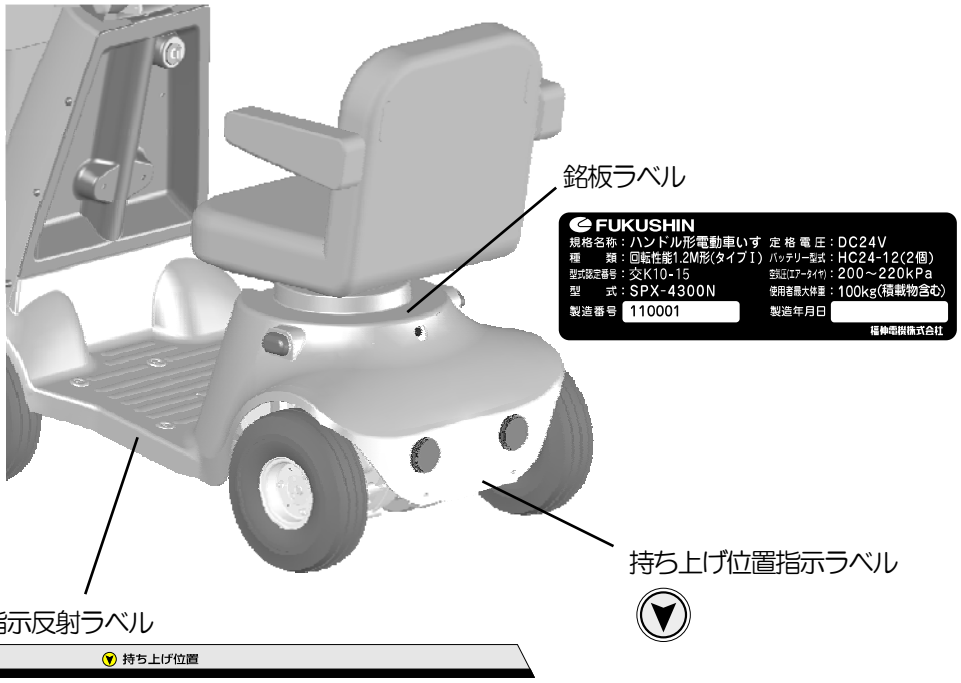
⚠ 警　告

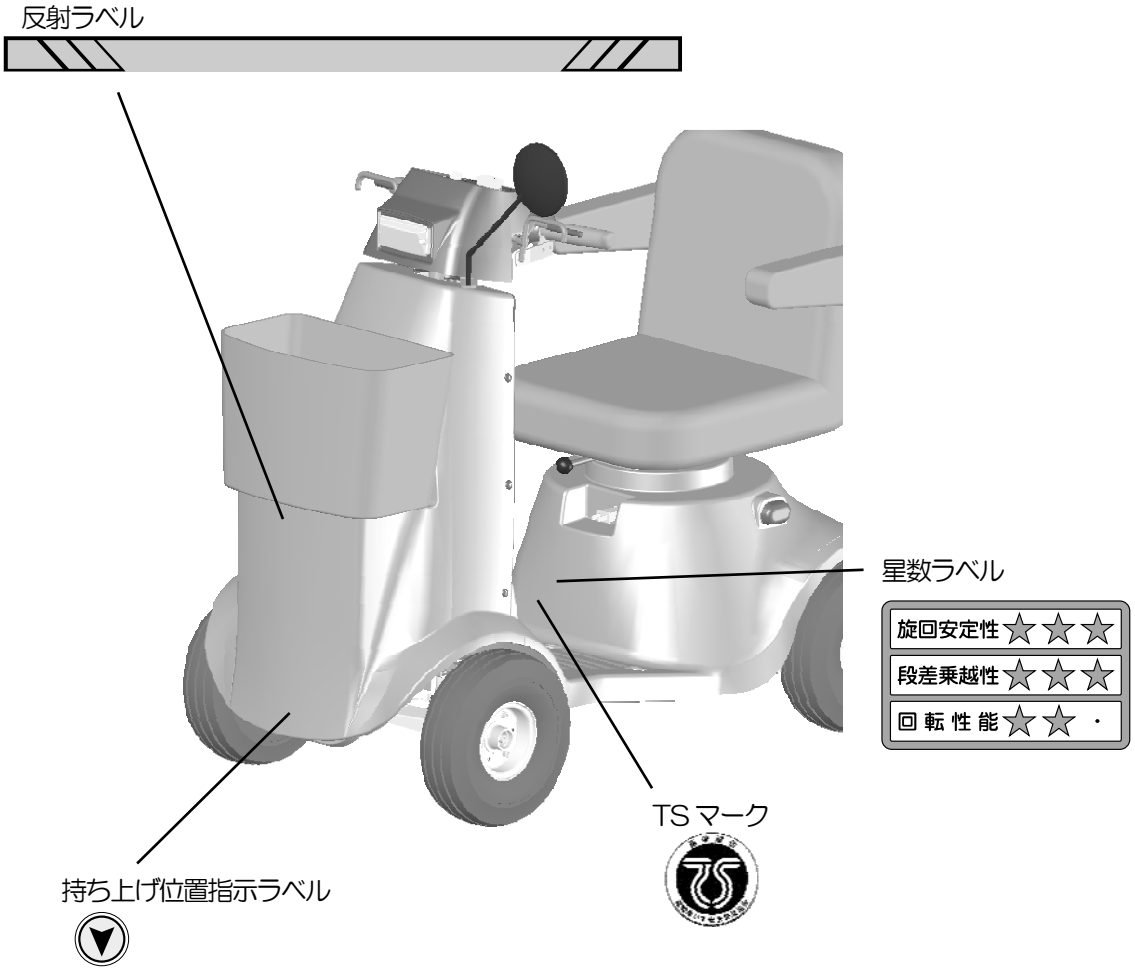
引火爆発の恐れがあります
充電中バッテリーに火気を近づけないでください。

感電の恐れがあります
濡れた充電用プラグや濡れた手でコンセントに差し込まないでください。

⚠ 注意　ご使用前に取扱説明書を必ずお読みください。

- 気分のすぐれない時や、飲酒した時は運転しないでください。
- 本製品は、道路交通法上歩行者として扱われます。
- 歩行者としての交通ルールを守り、安全運転に心掛けましょう。
- 下記状況での走行は避けるか、あるいは介助者に同行してもらってください。
  （交通量の多い道路・幅の広い横断歩道や踏切・砂利道 狭い道・夜間走行・防止柵の無い側溝・路肩付近・雨ふりぬかるみ・雪道・凍結路・濃霧・強風時）
- 段差や溝は直角に乗越えてください。また8cm以上の段差及び15cm以上の溝は避けてください。
- 10°以上の急坂走行や5°以上の斜面での斜め走行は避けてください。
- 後進する時は、後方の安全を確認してください。また、坂道での後進はしないでください。
- 蛇行・急停止・急旋回は避けてください。
- 2人乗りや他の車輌の牽引はしないでください。
- 手・足などの身体の一部を車体からはみ出さないでください。
- 制限重量は100kgです。重量オーバーしないようにご使用ください。
- 携帯電話や無線通信機器等をご使用の場合は、安全な場所に本製品を止めキースイッチを電源「切」にしてご使用ください。　また高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている所での走行は避けてください。


銘板ラベル
FUKUSHIN
規格名称：ハンドル形電動車いす
種　　類：回転性能1.2M形(タイプⅠ)
型式認定番号：交K10-15
型　　式：SPX-4300N
製造番号 110001
定格電圧：DC24V
バッテリー型式：HC24-12(2個)
空気圧(エアータイヤ)：200～220kPa
使用者最大体重：100kg(積載物含む)
製造年月日
福神電機株式会社
持ち上げ位置指示ラベル
持ち上げ位置指示反射ラベル
持ち上げ位置


反射ラベル
星数ラベル
旋回安定性 ★★★
段差乗越性 ★★★
回転性能 ★★・
TSマーク
持ち上げ位置指示ラベル

安全に運転していただくために必ず守っていただきたいこと

■ 道路を走行する前に・・・

⚠ 注意

●取扱説明書をよく読んで理解し、安全運転に心がけてください。
●取扱説明書は、いつでも見られる場所に保管しておいてください。
●この製品は電動車いすです。それ以外の用途には使用しないでください。
●貸与あるいは譲渡する場合は、運転指導をしたうえで、取扱説明書を必ず添えて、お渡しください。
●心も体も健康な状態で運転してください。
●お酒を飲んだとき、過労ぎみ、病気、気分がすぐれないときなどは、運転しないでください。事故の原因になります。
●使用前・使用後には、必ず点検を行ってください。
●この製品をご使用になる前、ご使用後には必ず点検を行ってください。点検を怠ると事故、故障の原因となります。 *（定期点検） ・・・ 30ページ*
●運転操作に慣れるまで、公園、広場などの安全な広い場所で十分に練習してください。
●初めて道路に出るときは、付き添いの方と一緒に安全を確認して走行してください。

■ 走行上のお願い・・・

この製品の正しい取扱いと操作で安全運転をしてください。

⚠ 注意

●走行中にキースイッチを「切」にすると急停止します。特に後進での走行中には、絶対にキースイッチを「切」にしないでください。
ハンドルをとられたり、転倒する恐れがあります。

●手押しスイッチを作動させた状態で乗車走行しないでください。
下り坂ではブレーキが効かなくなります。転倒・衝突などの大きな事故の原因となります。

下記の状況での走行は避けるか、あるいは介助者に同行してもらってください。
※交通量の多い道路 ・ 長い横断歩道や踏切 ・ 砂利道 ・ 狭い道 ・ 夜間走行 ・路肩付近 ・ 防止柵のない側溝 ・雨ふり ・ ぬかるみ ・ 雪道 ・ 凍結路 ・ 濃霧 ・ 強風時
・転倒したり走行不能になる恐れがあります。
・雪道や凍結道での走行は避けてください。

⚠ 注意

大きな段差や溝は走行しないでください

・大きな段差や溝を乗り越えて走行しないでください。
事故および電動車の損傷の原因となります。

※段差は８ｃｍまで溝は１５ｃｍまでは走行できますが、できるだけ避けてください。

※段差、溝は直角に乗り越えてください。

※段差や溝の乗り越えは後進で走行しないでください。

衝突や転倒など事故の原因となります。

急な坂道は走行しないでください

・急な坂道の走行はしないでください。

転倒など事故の原因となります。

※坂道は１０°までを目安にしてください。

下り坂はゆっくりと走行してください

・下り坂は速度切替を**「低」**にして走行してください。

・下り坂は後進で走行しないでください。
衝突や転倒など事故の原因となります。

傾斜面は走行しないでください

・急な傾斜面は走行しないでください。
ハンドルをとられたり転倒する恐れがあります。

※傾斜面は5°までを、目安にしてください。

後進には特に注意してください

・後進するときには、後方の人や障害物、くぼみなどに十分注意してください。また、坂道での後進はしないでください。事故および電動車の損傷の原因になります。

蛇行・急加速・急旋回・急停止は避けてください

・蛇行運転・急加速・急旋回・急停止などは絶対にしないでください。
転倒・衝突の恐れがあります。

夜間の走行は避けてください

・夜間の走行はできるかぎり避けてください。昼間より危険度が増します。もし、夜間走行される場合は、ヘッドライトを点灯し、介助者の方に同行してもらってください。

フロントバスケット（前かご）にたくさん積まないでください

・フロントバスケット（前かご）に、最大積載量（３ｋｇ）よりたくさんの荷物を、積まないでください。

・フロントバスケット（前かご）より、突出する荷物は積まないでください。
ハンドル操作の障害となる恐れがあります。

最大乗車重量は１００ｋｇです（積載物を含む）

・この重量を超えて走行した場合は、破損の恐れがあります。

手足など体の一部を車体からはみ出さないでください

・接触、転倒の恐れがあります。

２人乗り・牽引はしないでください

・お子様も含め、２人乗りで走行しないでください。また、運搬車や他の車を、牽引しないでください。

■ 交通法規及びマナーを守りましょう

この製品は、道路交通法上、身体障害者用車いすとして扱われます。したがって、歩行者と同じ扱いになります。歩行者としての交通法規及びマナーを守り、安全運転をしてください。ご使用前に以下の注意事項をよくお読みください。これらの事項に従わないと、事故および電動車の損傷の原因となります。

警察の指示があれば、その指示に従ってください。

⚠ 注意

踏切は一旦停止し安全を確認してください

・踏切の手前では必ず一旦停止し、左右の安全を確認して、溝（線路）にタイヤをとられないように十分注意して走行してください。

・万一、踏切内で動かなくなったときは、手押し移動で安全なところまで移動してください。

（手押し移動の方法）・・・　１７　ページ

・緊急を要するときは、踏切の非常押しボタンや発煙筒などで緊急連絡の処置をしてください。

２人乗り・牽引はしないでください

・お子様も含め、２人乗りで走行しないでください。また、運搬車や他の車を牽引しないでください。

斜め横断はしないでください

歩道を走行してください

・歩道や歩行者用道路を走行してください。

・歩道や歩行者用道路がないところは、自動車に十分注意して右側を走行してください。

・道路標識にしたがって走行してください。

横断歩道を渡ってください

・道路を横断するときは、横断歩道を渡ってください。

・歩行者の横断が禁止されたところは横断しないでください。

・横断するときは自動車、歩行者などに注意し、ゆとりを持って渡ってください。

・押しボタンの信号機のあるところは、「押しボタン」を押し、「青」になってから渡ってください。

・信号の点滅中は絶対に横断しないでください。

混雑を避けて走行してください

・人ごみのなかや狭いところでは接触、衝突などの恐れがありますので混雑を避けて走行してください。また、ゆずり合いの心でゆっくり安全運転してください。

屋内では安全のために低速（２ｋｍ／ｈ）で走行してください

交差点は一旦停止し安全確認してください

・交差点の手前では必ず一旦停止し、左右の安全を確認してから走行してください。

・交差点では、左折・右折の自動車やバイクなどに十分注意して走行してください。

歩行者用標識を守ってください

・歩行者専用

・自転車及び歩行者専用

・歩行者横断禁止

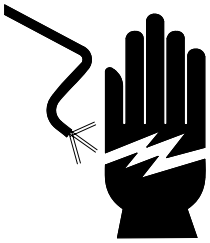
バッテリーの取扱い上の注意について

充電・バッテリーに関する注意

⚠ 警告

引火爆発の恐れがあります。

充電中は、バッテリーから可燃性のガスが発生しますので、絶対に火気を近づけないでください。



感電の恐れがあります。

濡れた手で充電用プラグを、ＡＣ１００Ｖコンセントに差し込まないでください。

⚠ 注意

- ●内蔵の充電器で充電してください。
- ●純正のバッテリーを使用してください。
- ●充電は直射日光や雨・露を受けない、風通しのよいところで行ってください。
- ●車体カバーなどをかけたまま、充電をしないでください。

バッテリーに直接触れる作業上の注意

バッテリーに貼付けてあるラベルの指示に従ってください

⚠ 危険

- ●バッテリーは密閉構造内に組み込まないでください。
- ●引火爆発の恐れがあるので、バッテリーに火気を近づけないでください。
- ●バッテリー液（希硫酸）が、目・皮膚・衣服についた時は、多量の水で洗い、目に入ったり飲み込んだときは、至急医師の治療を受けてください。
- ●点検するときは、保護具を着用してください。
- ●バッテリーを分解・改造しないでください。
- ●バッテリーを清掃するときは、乾いた布で拭いたり、はたき掛けをしないでください。
- ●工具などで、バッテリーの＋端子と－端子をショート（短絡）させないでください。

その他、下記の事項に注意してください

⚠ 注意

●バッテリーを点検するときは、キースイッチを「切」にし、充電用プラグをＡＣ１００Ｖコンセントから抜いた状態で行ってください。

●バッテリーを持ち運ぶときは、落とさないように注意してください。

・両手でしっかりと本体を持ってください。

●バッテリーは正しい向きで載せ、確実に固定してください。

●使用済みバッテリーは、廃棄せず販売店に相談してください。

電磁波による誤動作を防ぐために

⚠ 注意

●携帯電話や無線通信機器などをご使用の場合は、安全な場所に電動車をとめ、キースイッチを「切」にしてからご使用ください。また、高圧線やテレビ塔など強い電磁波がでているところでの走行は避けてください。

その他の注意について

⚠ 注意

●保管したり駐車するときは、必ずキーを抜き、子供の手の届かないところに保管してください。

●保管したり駐車するときは、傾斜面を避けてください。タイヤがスリップして動き出すおそれがあります。

●必ず１年に１度は点検を受けてください。（有償）

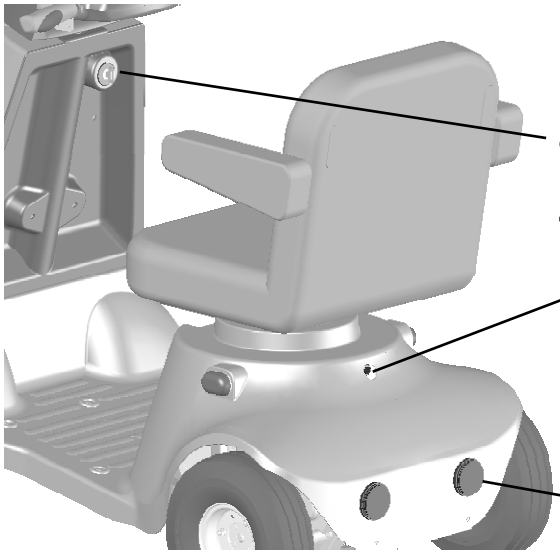
●長期間使用しなかった場合には、使用前には点検を受けてください。

●改造は事故・故障などの原因となりますのでしないでください。

●車体に水をかけたり、ガソリン・シンナー・ベンジンなどで拭かないでください。

●部品交換のときは、必ず純正部品を使用してください。

各部の名称とはたらき

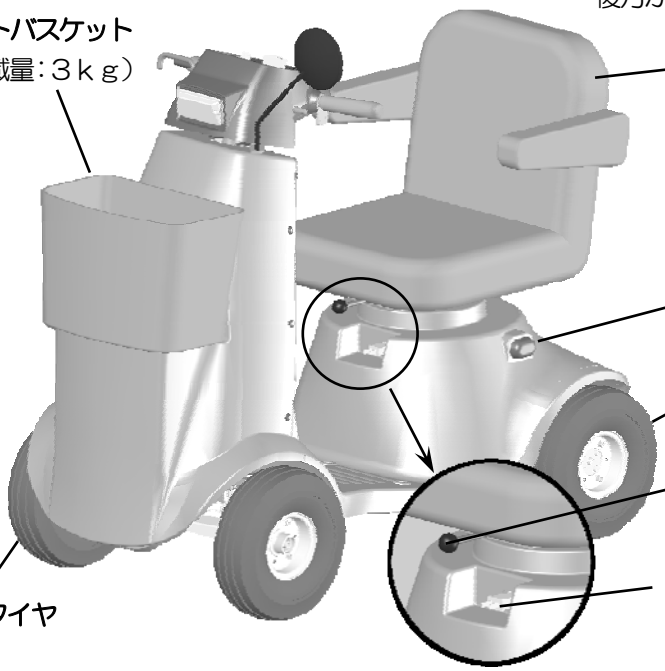


●キースイッチ
（オートパワーオフ機能付）
電源の「切」「入」「ライト点灯」のスイッチです。

●手押しスイッチ
本体を手押し移動するときに使用します。
※手押し移動するとき以外は使用しないでください。
※キースイッチが「入」または「ライト点灯」のとき使用できます。

●リフレクター
後方からの光を反射します。

●フロントバスケット
（最大積載量：３ｋｇ）



●回転シート
乗り降りのとき、左右に回転させることができます。また、取り外しができます。
（ひじかけ付）

●ウインカー

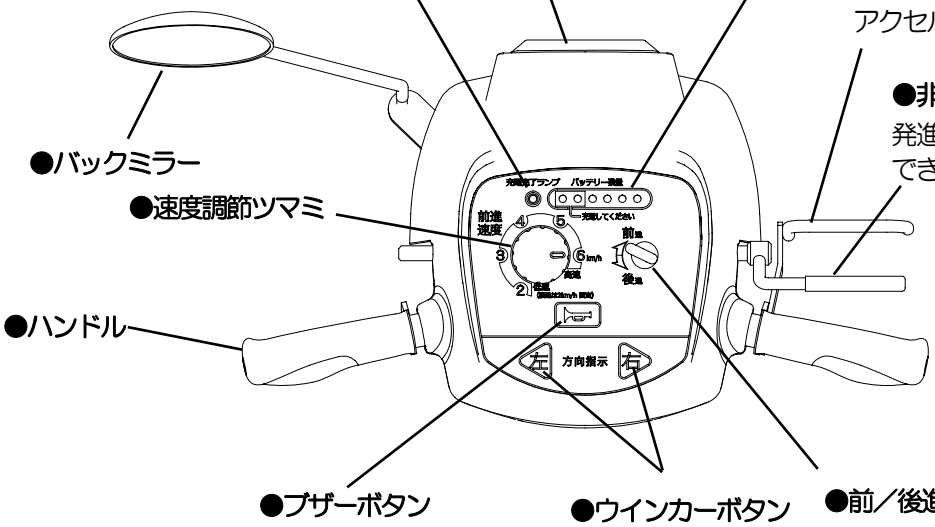
●後輪タイヤ

●回転レバー
レバーを引くといすの回転や取り外しができます。

●充電用プラグ
家庭用ＡＣ１００Ｖコンセントに差し込みバッテリーを充電します。

●前輪タイヤ

ハンドル部



●ヘッドライト（前照灯）

●バッテリーメーター

●充電完了ランプ

●アクセルガード
アクセルの誤操作を軽減します

●非常停止装置付アクセルレバー
発進、停止およびスピードの調節ができます。

●バックミラー

●速度調節ツマミ

●ハンドル

●ブザーボタン

●ウインカーボタン

●前／後進切替ツマミ

各部の名称と取扱い

■ 表示部（バッテリーメーター）

走行時

・バッテリー容量の残量をランプの数で“点灯”表示します。

・満充電のときは、6個のランプが全て点灯します。使用量により、右側からランプが消えます。

・ランプの数が2個以下になるとブザー音でバッテリーの残量が少なくなったことをお知らせします。

・バッテリーの残量は、平坦な場所で「６ｋｍ／ｈ」で前進走行したときの“点灯”しているランプの数が、もっとも正しい状態を示しています。 ・・・ *16ページ*

バッテリーメーター ●点灯　○消灯	充電の目安
●●●●●●	充電不要
●●●●●○	充電可
●●●●○○	充電可
●●●○○○	充電可
●●○○○○	要充電
●○○○○○	要充電

・発進時や坂道を走行するときなど、一時的にバッテリーメーターのランプの点灯数が減ることがありますが、平坦なところを走行すれば、バッテリーの残量は正しく表示されます。

補足

・タイヤの空気圧が低下すると著しく走行距離が短くなります。

・冬期はバッテリーの働きが弱まりますので、バッテリーメーターのランプの消えかたが早くなります。

充電時

・充電しているとき、バッテリーの充電経過をバッテリーメーターのランプの数で“点滅”表示します。

・走行しているとき、バッテリーメーターのランプが2～6個点灯していた場合でも充電を開始すると、左側にランプが1個だけ“点滅”し、時間の経過とともにランプの点滅数が増えていきます。

※充電は自動停止します。（充電用プラグをコンセントから抜き取るまで、充電完了ランプは点滅を続けます。）

充電完了ランプ／ バッテリーメーター ★点滅　○消灯	充電経過
★　○○○○○○	充電完了
○　★★★★★○	充電中
○　★★★★○○	充電中
○　★★★○○○	充電中
○　★★○○○○	充電中
○　★○○○○○	充電開始

※左のランプは充電完了ランプ

■ 表示部（異常表示）

異常表示（バッテリーメーターの早い点滅）

・使用中または、充電中に異常が発生した場合には、バッテリーメーターの早い“点滅”で異常をお知らせします。*（故障かな？と思われたとき）・・・　26　ページ*

・異常表示の解除は、キースイッチを「切」にして再び「入」にしてください。

補足

・本体の安全機能が作動した、または、誤操作をしたときにもバッテリーメーターが早い“点滅”をします。*（故障かな？と思われたとき）・・・　26　ページ*

※バッテリーメーターが早く“点滅”した場合は、電動車を安全な場所に移動し、バッテリーメーターの点滅位置を確認したうえで、（お買い上げの）販売店にご相談ください。

■ 操作部

ブザーボタン

・押すと警報ブザーが鳴ります。

キースイッチ

・キーをスイッチに差し込みます。（キーを根元までしっかり差し込んでください。）

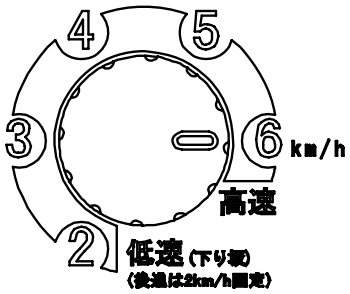
「切」
・走行できません。
・「切」の位置でキーは、抜き差しできます。
・充電するときは、「切」の位置または、キーを抜いてください。

「入」
・走行できます。
・バッテリーメーターを表示します。

ライト点灯
・「入」と同様です。
・ヘッドライトが点灯します。

速度調節ツマミ

・ツマミを回転させると、前進走行するときの最高速度の調節ができます。
※後進走行するときは、ツマミの位置に関係なく最高速度は２ｋｍ/ｈに固定されます。



前・後進切替ツマミ

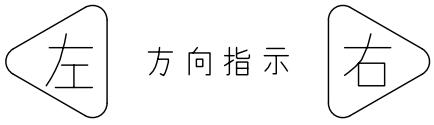
・ツマミで、「前」「後」の切替ができます。
※「後」側に切り替えると、ブザーの断続音とウインカーの点滅で後進することを、お知らせます。

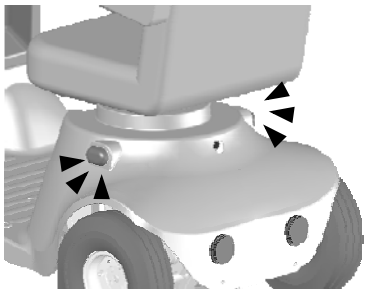
⚠ 注意

●ボタンを操作するときは、必ず一旦停止してから、操作してください。
●走行前に、前進・後進のランプを必ず確認してください。

ウインカーボタン

・「左」ボタンを押すと左のウインカーが、「右」ボタンを押すと右のウインカーが「ピッ、ピッ、ピッ･･･」の断続音と共に点滅します。
※交差点などを曲がりたいときに、使用してください。
注意）　操作パネルのボタンは、フィルムでできています。爪先や、尖ったもので押さないでください。破れて防水性が損なわれる恐れがあります。





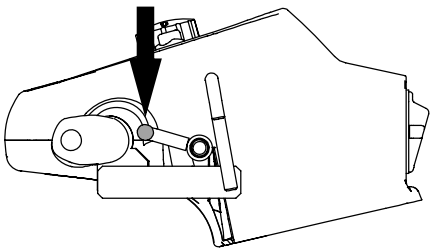
補足

・ウインカーの点滅は、カーブを曲がり終えてハンドルを戻すと自動的に止まります。止まらない場合は、再度どちらかのボタンを押してください。

アクセルレバー

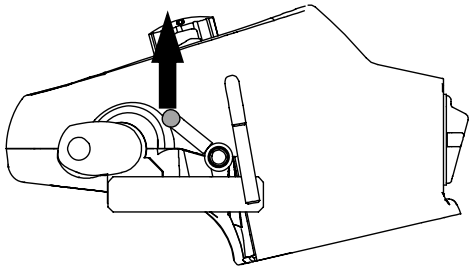
・軽く握ると、ゆっくり動き始めます。
・アクセルレバーを手からはなすと、自動的にブレーキがかかり停止します。

アクセルレバーを握る



走り出す

アクセルレバーをはなす



停止する

運転の方法

■ 乗車する前に・・・

キースイッチが「切」になっているか確認してください。

・キースイッチが「入」または「ライト点灯」になっているとき、不用意にアクセルレバーに触れると車体が動きますので、十分お気を付けください。

※手押しで動作しないことを確認してください。

（*手押し移動の方法*）・・・　１７　*ページ*

「切」

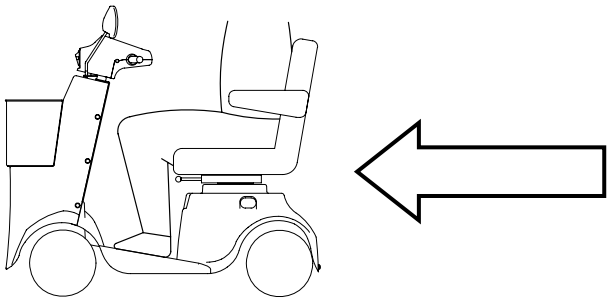
■ 乗車しましょう・・・

シートに腰掛けてください。

・シートが回らない状態に、しっかり固定していることを、確認してください。

（*シートの取扱い*）・・・　２８　*ページ*

・正面に向いて正しくゆったりとした姿勢で、シートに深く腰掛けてください。



補足

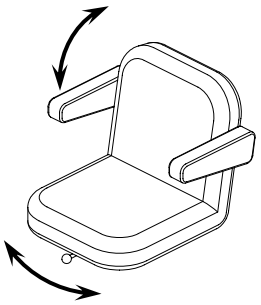
・乗り降りの際には、ひじかけを上げ下げすることができます。ひじかけは下げて走行してください。

・乗り降りの際には、シートを回転させることができます。

・回転レバーを前方に引くとシートの固定が解除されます。

・レバーを引いたまま、シートを回転させると左右に９０度回転します。シートを固定できる位置は前方・左右の３ヶ所です。

・走行前にシートの固定を確認してください。



⚠ 注意

● 必ず平坦な場所で乗り降りしてください。

■ 始動しましょう・・・

キースイッチを「入」または「ライト点灯」にしてください。

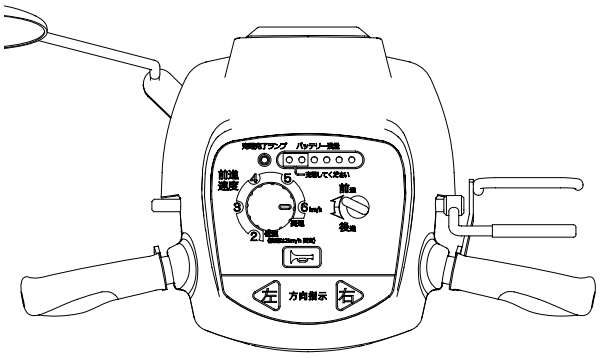
・キーを差し込んで、キースイッチを「入」または「ライト点灯」にしてください。
※バッテリーメーターが点灯します。
※夜間などの暗いときはキースイッチを「ライト点灯」にしてヘッドライトを点灯してください。

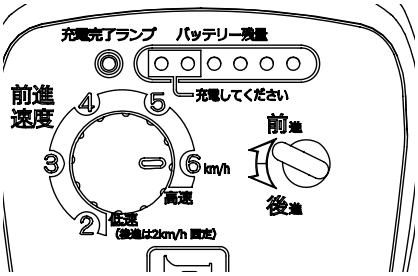
「入」

ライト点灯

前・後進切替ツマミ、速度調節ツマミの位置を確認してください。

・前・後進切替ツマミを「前」にし、速度調節ツマミを「2」にしてください。
※後進のときは前・後進切替ツマミを「後」にしてください。
　ブザーの断続音とウインカーの点滅で、後進をお知らせします。

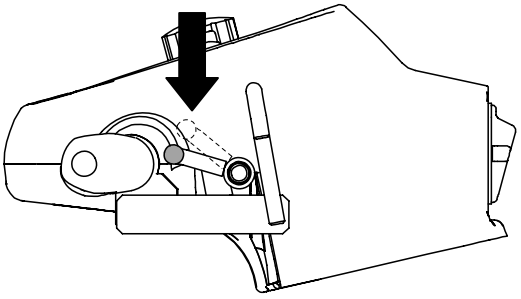




アクセルレバーをゆっくり押し下げて発進してください。

アクセルレバーをゆっくりと握ると発進します。
※アクセルレバーを一度に素早く握ると、飛び出し防止機能が働き、発進しません。
※アクセルレバーを強く握ると、握り込み非常停止機能が働き、発進しません。

アクセルレバーを握る



⚠ 警告

●走行中にキースイッチを「切」にすると急停止し、危険です。
特に後進での走行中には、絶対にキースイッチを「切」にしないでください。
ハンドルをとられたり、転倒する恐れがあります。

※走行速度は、アクセルレバーを少し握るとゆっくりと、深く握ると徐々に早くなります。
※発進時や坂道を走行したときは、一時的にバッテリーメーターの点灯数が減ることがありますが、平坦なところを走行すれば、バッテリーの残量は正しく表示されるようになります。
※バッテリーの残量は、平坦なところを「６ｋｍ／ｈ」で走行したときに点灯するランプの数が正しい状態を示しています。

補足

前進側の速度調節ツマミの使い方と適所の事例は次のとおりです。
正しくしっかり覚えておいてください。

２ｋｍ／ｈ――――― ゆっくり走行
・下り坂を走行する
・室内や狭い場所
・人混みの中

２～４ｋｍ／ｈ――― 普通に歩く速度
・普通の屋外走行

６ｋｍ／ｈ――――― 早足の速度
・広い場所での走行

運転に慣れるまでは、「２～４ｋｍ／ｈ」で走行してください。

■ 停止するときは・・・

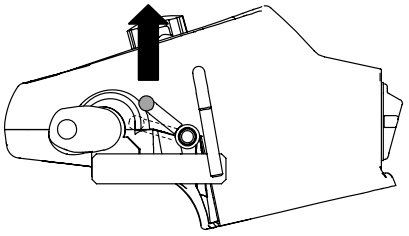
停止するときはアクセルレバーから手をはなしてください。

停止するときはアクセルレバーから手をはなしてください。
ブレーキが自動で働いて静かに停止します。
アクセルレバーから手をはなすと、ウインカーの点滅が数回繰り返されます。
（オートハザード機能）・・・２６ページ

⚠ 注意

●制動距離は速度と坂道及び路面状態によって変わります。特に下り坂は制動距離が長くなりますので停止操作は余裕を持って行ってください。
●駐停車するときは坂道を避け、必ず平坦路で行ってください。
駐車時は、必ずキーを抜いてください。

アクセルレバーをはなす



手押し移動の方法

⚠ 注意

●手押し移動は、必ず平坦な場所で行ってください。

■ 手押し移動する前に・・・

① 乗車せずにキースイッチを「切」から「入」または「ライト点灯」にしてください。

乗車せずにキースイッチを「切」から「入」または「ライト点灯」にしてください。
※その際、前進、低速にし、ウインカーは止めてください。

「入」

「切」

⚠ 注意

●キースイッチが「入」、または「ライト点灯」の状態になっている時に、アクセルレバーに触れると本体が動きますので十分に気をつけてください。

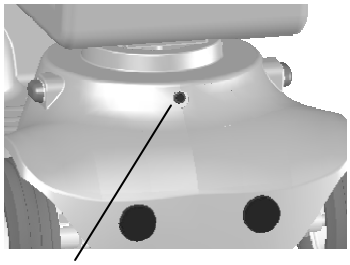
■ 手押し移動しましょう・・・

② 手押しスイッチを押してください。

手押しスイッチをゆっくり軽く押してください。（ブレーキが解除されます）
「ピー、ピー、ピー･･･」と長めの断続音で約5分間手押し移動できます。

補足

・手押しスイッチを押した状態ではアクセルレバーを操作しても走行できません。
・手押し移動を終了するときは、キースイッチを「切」にするか再度手押しスイッチを押します。
・手押しスイッチを押したとき、「ピ、ピ、ピ・・・」の短めの断続音がなれば誤操作警報です。
キースイッチを「切」にし、再び「入」または「ライト点灯」にして操作をやり直してください



手押しスイッチ
強く押すと破損の原因となります。
ゆっくり軽く押してください。

⚠ 注意

●手押しスイッチを作動させた状態で、乗車走行しないでください。
●坂道では本体が自走する恐れがあります。必ず平坦な場所で手押しスイッチを操作してください。（キースイッチを「切」にするか再度手押しスイッチを押すと停止します。）

③ 電動車を手押ししてください。

・「ピー、ピー、ピー･･･」と長めの断続音が鳴っている間、手押し移動ができます。
　手で押したり引いたりして移動してください。
・手押しの際は、ゆっくり押してください。
　（足元は十分に気をつけてください。）
※手押し移動のとき、安全のため本体の速度が速くなると自動的にブレーキがかかります。
　したがって、力を入れて押そうとしても本体は重く感じます。

補足

・手押し移動ができる時間は、手押しスイッチを押してから約５分間です。約５分経過すると、自動で電磁ブレーキがかかり本体が動かなくなります。また、キースイッチは、「入」または「ライト点灯」になっていますが、自動で電源が切れます。
（オートパワーオフ機能）・・２５ページ
・再度手押し移動したい場合は、キースイッチを一度「切」にし、手押し移動の方法の手順①～③を繰り返してください。
・手押し移動を終了したいときは、キースイッチを「切」にするか再度手押しスイッチを押します。

⚠ 注意

●手押し移動は、必ず平坦な場所で行ってください。

キースイッチを「切」にしてください。

・手押し移動を終了するときは、キースイッチを「切」にするか再度手押しスイッチを押します。

補足

・オートパワーオフ装置の作動している状態では、走行と充電はできません。*（オートパワーオフ機能）・・・　２５　ページ*
※走行するときは、キースイッチを一度「切」にし、「入」または「ライト点灯」にしてください。
※充電するときは、キースイッチを「切」にしてください。
　（充電の方法）・・・　１９　ページ

「切」

充電の方法

■ 充電をする前に・・・

⚠ 注意

・充電は、直射日光の当たらない風通しの良いところで行ってください。充電中、バッテリーから可燃性ガス（水素ガス）が発生しますので、風通しが悪いとガスが充満します。

・充電は、雨・露などを受けない湿気の少ないところで行ってください。湿気が多いところでは、故障や漏電する恐れがあります。

・車体カバーを取り外してください。

※車体カバーをかけたまま充電すると風通しが悪くなり、バッテリーから発生する可燃性ガスが、カバー内に充満します。

充電場所はなるべく暖かいところで行ってください。

・気温が約5℃以下では、充電が不足することがあります。

※充電するときの適温は、約１０℃～約３０℃です。

※約４０℃以上のところでは、バッテリーの寿命が短くなることがあります。

■ 充電をしましょう・・・

キースイッチを「切」にしてください。

・キースイッチを「切」にするかまたは、キーを抜いてください。

※キースイッチが、「入」または、「ライト点灯」になっていると充電できません。

※充電中にキースイッチを「入」または「ライト点灯」にすると充電は停止し、ブザーの断続音で異常を知らせます。キースイッチを「切」にすると再度充電を開始します。

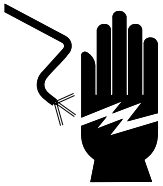
※オートパワーオフ機能が作動した後では、充電できません。

（オートパワーオフ機能）・・・　25ページ

「切」

充電用プラグを引き出してコンセントに差し込んでください。

⚠ 警告



感電の恐れがあります。

・濡れた充電プラグや濡れた手で充電プラグをコンセントに差し込まないでください。

⚠ 注意

・充電用プラグは、充電コードの赤色が出たら、それ以上引き出さないでください。
※コード破損による発火や、充電コードの収納不良になることがあります。

家庭用ＡＣ１００Ｖを使用してください。

・自動車用インバータ（１２Ｖ/２４Ｖ→１００Ｖ変換機）は使用しないでください。
※故障の原因となります。

・充電コードをまっすぐ適当な長さに引き出してください。
・充電用プラグは、必ず家庭用 AC１００V コンセントに根元までしっかりと差し込んでください。
※バッテリーメーターのランプが左側から点滅表示し、自動的に充電を開始します。
・一度充電を始めますと、必ず充電完了ランプが“点滅”するまで、充電は止めないで下さい。
（途中で充電を止めると、バッテリーの寿命低下の原因になります。）

補足

・バッテリーメーター
バッテリーメーターのランプの点滅数は、最初は１個だけ点滅し、充電時間にしたがって増えていきます。（必ず１個ずつ順番に点滅数が増えるわけではありません。バッテリーの残量が多い場合は、１個の点滅から、３個～５個の点滅に増える場合があります。）
・充電完了ランプが“点滅”するまで充電を止めないで下さい。
・充電の目安　　*（各部の名称と取扱い）・・・　１１　ページ*

走行される場所	充電の目安
平坦な場所	走行距離が１０km 程度になれば充電してください。
坂道の多い場所	乗車された日は、１日１回充電してください。

・過充電、過放電は避けてください。
電動車を使用しないのに毎日充電すること（過充電）や適切に充電しないで、電動車を使い続けること（過放電）は、バッテリーの寿命を著しく低下させることになりますので、しないでください。

■ 充電中の注意事項

⚠ 警告

引火爆発の恐れがあります。

・充電中はバッテリーから可燃性のガスが発生しますので、絶対に火気を近づけないでください。

充電は終了するまで続けてください。

・充電用プラグは、充電が終了するまでコンセントから抜かないでください。
※充電を途中で中断すると、バッテリーの寿命が短くなる場合があります。

充電の妨げをしないでください。

・充電中にキースイッチを「入」にしたり、アクセルレバーを押し下げないでください。
※充電の妨げや、故障の原因になります。

■ 充電が終了しました・・・

④　充電完了ランプの点滅とブザー音でお知らせします。

・充電終了の合図は「ピピッ、ピピッ、ピピッ･･･」とブザーが3回鳴り、充電完了ランプの点滅でお知らせします。（バッテリーメーターのランプは消灯します。）

補足

・充電用プラグをコンセントから抜くまで、充電完了ランプは点滅し続けますが、充電は自動停止しています。
※充電は自動停止しますので、充電しすぎることはありません。

⑤　充電用プラグをコンセントから抜きましょう。

・充電が終了（充電完了ランプが点滅）していれば、コンセントから充電用プラグを抜き、ゆっくりと元に戻してください。
・コードリールは、一度軽く引くと自動で収納します。
（何日間も、充電用プラグをコンセントに差したままにすることは、しないでください。）

バッテリーの取扱い方

⚠ 注意

●純正のバッテリーを使用してください。（HC２４－１２）
（搭載されているバッテリーは、補水不要です。）

⚠ 注意

●バッテリーを取扱うときは、バッテリーの警告ラベルをよく読んでください。

⚠ 注意

●電動車のバッテリーは、電動車以外には使用しないでください。

電動車の心臓部ともいえるバッテリーの性能を十二分に引き出し、長く使用していただくために、取扱い方法を正しく守り、日常の保守点検を行うようにしてください。

バッテリーに直接触れる作業上の注意

バッテリーに貼付けてあるラベルの指示に従ってください。

⚠ 危険

●バッテリーは密閉構造内に組み込まないでください。
●引火爆発の恐れがあるので、バッテリーに火気を近づけないでください。
●バッテリー液（希硫酸）が、目・皮膚・衣服についた時は、多量の水で洗い、目に入ったり飲み込んだときは、至急医師の治療を受けてください。
●点検するときは、保護具を着用してください。
●バッテリーを分解・改造しないでください。
●バッテリーを清掃するときは、乾いた布で拭いたり、はたき掛けをしないでください。
●工具などで、バッテリーの＋端子と－端子をショート（短絡）させないでください。

その他、下記の事項に注意してください。

⚠ 注意

●バッテリーを点検するときは、キースイッチを「切」にし、充電用プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
●バッテリーを持ち運ぶときは、落とさないように注意してください。
・両手でしっかりと本体を持ってください。
●バッテリーはターミナルが前側になるように載せ、確実に固定してください。
●使用済みバッテリーは、廃棄せず（お買い上げの）販売店に相談してください。
●バッテリーのターミナル部（接続部分）がゆるんでいると、スパークや発熱などの原因になります。確実に締め付けてください。

⚠ 危険

●火傷や発煙、爆発などの原因になる恐れがあります。
工具などでバッテリーの＋端子と－端子をショート（短絡）させないでください。

ターミナル部に白い粉が付くことがありますが故障ではありません。

⚠ 危険

●バッテリーの清掃は固く絞った濡れ布以外でしないでください。
※乾いた布で拭くと、静電気による火花が可燃性ガスに引火し、爆発する恐れがあります

⚠ 危険

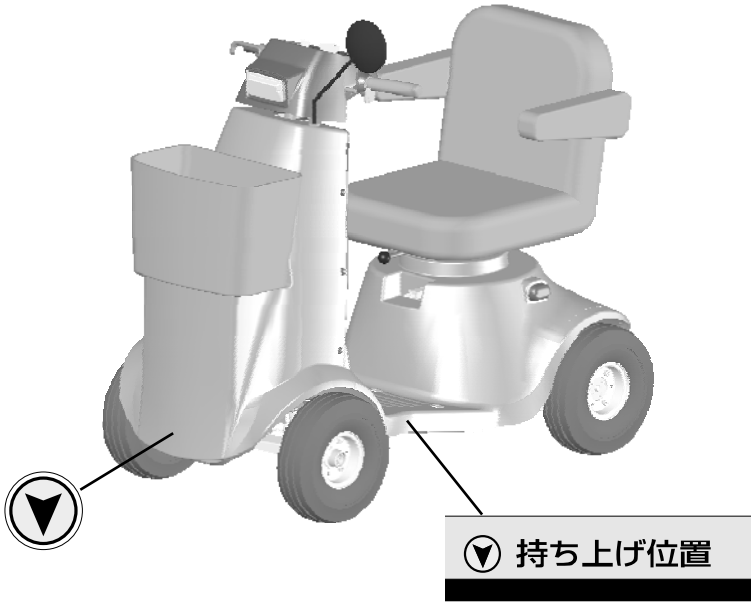
●破損によりバッテリー液（希硫酸）で失明や、火傷をすることがあります。
目・皮膚・衣服等についたときは、すぐに多量の水で洗い、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。
目に入ったときや、飲み込んだときは、至急医師の治療を受けてください。

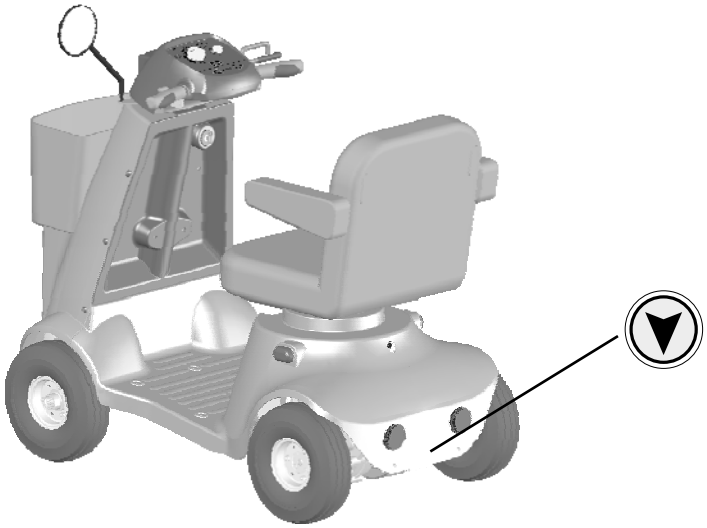
■ 保管方法

直射日光の当たる場所や、高温あるいは多湿の雰囲気中で、保管しないでください。
長期間ご使用にならない場合は、１ヶ月に１度、充電を行ってください。

持ち上げによる運搬

下図のように ⓨ の表示部分を持って持ち上げます





⚠ 注意

●本体を持ち上げて運搬する際は持ち上げ指示ラベル（ ⓨ ）の矢印位置を持つこと。
●３人以上で持ち上げて運搬する。
●キースイッチを「切」にして運搬する。

安全機能

快適で安全な走行を楽しんでいただくために、数々の安全機能を備えています。安全機能の内容をご理解のうえ、快適に走行してください。

■ 飛び出し防止機能

バッテリーメーター（★ ★ ● ● ★ ★）　●点灯　★点滅

・アクセルレバーを一度に押し下げても、急発進の心配はありません。
・アクセルレバーを押し下げたまま、キースイッチを「入」にした場合は、発進しません。
※その際は、バッテリーメーターが“点滅”表示し、ブザーの断続音で知らせます。
・解除方法はアクセルレバーから手をはなし、キースイッチを「切」にして再び「入」にしてください。

■ 握り込み非常停止方法

・アクセルレバーを強く握る（５０～７０N（5～7ｋｇｆ））と急停止します。
※その際は、ブザーの断続音でお知らせします。
・再度、発進するときはアクセルレバーを一度離して再操作してください。
※この機能は非常時の安全機能です。通常の走行で頻繁に使用されますと故障の原因となりますので適切な運転操作をお願いします。

■ 過負荷防止機能

バッテリーメーター（★ ● ★ ● ★ ●）　●点灯　★点滅

・急な登り坂を登り続けると、モーターの焼損防止のために、センサで温度を検知し、ブザーの断続音で警告を発しますので、安全な場所で一旦停止してください。
（そのまま走行を続けると停止し、バッテリーメーターが“点滅”表示します。）
※緊急に移動が必要な場合は、３０秒間後進することができます。（後進を始めて３０秒後に停止し、バッテリーメーターが“点滅”表示します。）
※異常状態の解除には、キースイッチを「切」にし、モーターや電気部品が冷えるのを待ってから再び「入」にしてください。

■ オートパワーオフ機能

・万一電源を切り忘れた場合でも、１５分間アクセル操作がなければ自動的に電源が切れ、バッテリーの過放電を防止します。
・解除方法は、キースイッチを「切」にし、再び「入」にしてください。
※キーを差したまま放置すると、重大な事故や盗難の恐れがあります。電動車から離れる際には電源を切り、キーを抜く習慣を身につけてください。

■ ウインカーオートキャンセル機能

・コーナーを曲がり終えた際、自動的にウインカーの点滅を止める機能です。
※止まらない場合は、どちらかのウインカースイッチを押してください。

■ コーナリング減速機能

・4km/h 以上で走行中、旋回する際、安全に曲がれるよう減速させる機能です。

■ オートハザード機能

・停止した際、ウインカーを点滅させ周囲に停止したことをお知らせする機能です。また、後進時もウインカーが点滅し、周囲に後進していることをお知らせする機能です。

※２ｋｍ／ｈ以下の低速では、はたらきません。

■ その他の安全機能

・マイコンは、走行中や充電中でも常に各部を点検しています。異常があればすみやかに走行や充電を停止し、バッテリーメーター、ブザーなどで異常を知らせます。

故障かな？と思われたとき

ご使用中に異常が発生したときは、事故防止のため使用を中止し、安全な場所に移動してから（お買い上げの）販売店にご相談ください。ご家庭での修理は危険ですのでおやめください。異常が発生した場合は、バッテリーメーターの点滅でお知らせしますので、ランプの点滅のしかたを確認し、（お買い上げの）販売店に連絡してください。

<table>
<tr><th>症状</th><th>バッテリーメーター</th><th>原　　因</th><th>処　　置</th><th>警告音</th></tr>
<tr><td rowspan="8">発進しない時</td><td>★★●●★★</td><td>アクセルレバーを押し下げたまま、キースイッチを「入」にした。
（飛び出し防止機能が作動した）</td><td rowspan="2">キースイッチを一旦「切」にし再び「入」にしてください。</td><td>有</td></tr>
<tr><td>○○○○○○</td><td>オートパワーオフ機能が作動した。
手押し移動終了後である。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>★★●●★★</td><td rowspan="2">バッテリー残量が少ない。</td><td rowspan="2">バッテリーメーターを確認し、適切に充電してください。解消しない場合、（お買い上げの）販売店に連絡してください。</td><td>有</td></tr>
<tr><td>●●★★●★</td><td>無</td></tr>
<tr><td>●●★★●★</td><td rowspan="3">電気系統の異常。</td><td rowspan="3">（お買い上げの）販売店に連絡してください。</td><td>無</td></tr>
<tr><td>●★●★●★</td><td>無</td></tr>
<tr><td>●★●★★●</td><td>無</td></tr>
<tr><td rowspan="4">走行速度が遅くなった時</td><td>―</td><td>ハンドルを大きく操作した。
（コーナリング減速機能が作動した）</td><td>異常ではありません。
（ハンドルを戻し、直進すればもとの速度になります）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>―</td><td>バッテリー残量が少ない。</td><td>バッテリーメーターを確認し、適切に充電してください。
またはバッテリー交換。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>―</td><td>タイヤの空気圧不足。
（エアータイヤ仕様のみ）</td><td>空気を入れる。
（２００～２２０ｋＰａ）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>―</td><td>急な上り坂を走行した。</td><td>異常ではありません。</td><td>－</td></tr>
</table>

○消灯　　●点灯　　★点滅

症状	バッテリーメーター	原　　因	処　　置	警告音
走行中に停止した時	●●★★★●	タイヤが動かない。	タイヤが動かない原因を取り除き、キースイッチを「切」にし再び「入」にしてください。	無
	★★★●★★	手押し移動の操作を間違えた。 手押しスイッチの異常。	キースイッチを一旦「切」にし再び「入」にしてください。解消しないときは、（お買い上げの）販売店に連絡してください。	有
	★●★●●★	過熱防止機能が作動した。	キースイッチを「切」にして、しばらく休んだ後、再び「入」にしてください。	無
	★●★●★●			有
	―	非常停止機能が作動した。 （ブザー断続音）	アクセルレバーを元の位置に戻してから走行してください。	有
	その他	電気系統の異常	（お買い上げの）販売店に連絡してください。	-
充電できない時	―	家庭用100V電源が入っていない。	充電プラグ、ブレーカーを確認してください。	-
	―	充電系の損傷。 コードリールの損傷。	（お買い上げの）販売店に連絡してください。	-
	―	キースイッチが「入」 になっている。	キースイッチを「切」にし、 充電用プラグをコンセントに 差し込んでください。	有
	●★★★★★	充電系統の異常。	バッテリーコネクターの抜け、ゆるみを確認してください。	有
	●★★★★●		（お買い上げの）販売店に連絡してください。	有
	★●●●●★			有
	★●●●★●	バッテリーが劣化している。	（お買い上げの）販売店に連絡してください。	有
	★●●●★★	充電系過熱。	冷えてから風通しの良い場所で再充電してください。解消しないときは、（お買い上げの）販売店に連絡してください。	有

○消灯　　●点灯　　★点滅

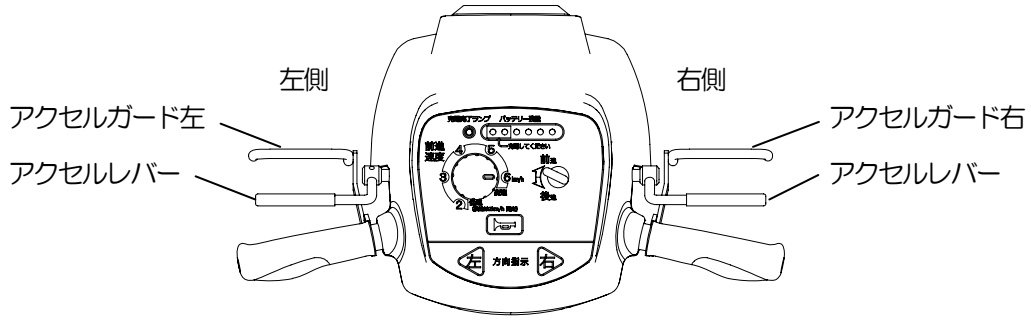
症状	バッテリーメーター	原　因	処　置	警告音
手押しできない時	★★★●★★	手押しスイッチの異常。 手押し移動の操作を間違えた。	キースイッチを「切」にし、再び「入」にしてください。解消しないときは、（お買い上げの）販売店に連絡してください。 (手押し移動の方法)・・・１７ページ	有
ウインカーが付かない	―	ウインカースイッチの損傷。 電球が切れている。 ヒューズ（3A）が切れている。	（お買い上げの）販売店に連絡してください。	-
ヘッドライトが点灯しない	―	電球が切れている。 ヒューズ(3A)が切れている。 キースイッチの損傷。		-

○消灯　　●点灯　　★点滅

アクセルレバーの取扱い

アクセルレバーは右側の取付が標準ですが、左側にも取付可能です。
左側に移動したい場合は（お買い上げの）販売店にお申し付けください。

※アクセルレバーは左右共通です。
※アクセルガードは左右別部品です。お買い求めください。

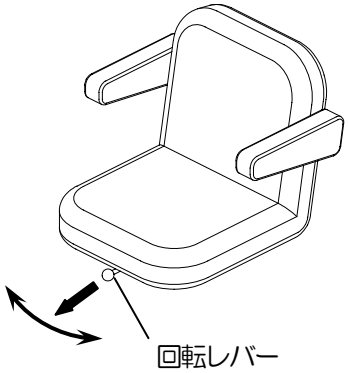


シートの取扱い

■ シートの回転

・乗り降りの際には、シートを回転させることができます。
・回転レバーを前方に引くとシートの固定が解除されます。
・レバーを引いたままシートを回転させると左右に９０°回転することができます。

※シートを固定できる位置は前方・左右の３ヶ所です。
走行前にシートの固定を確認してください。



お手入れのしかた

■ 車体の清掃

電動車をいつまでも快適にご愛用いただくために、外観も清潔に保つようにしてください。
車体の汚れは、よく絞った濡れタオルなどで拭き取ってください。
特に汚れがひどい時は、タオルに中性洗剤をしみ込ませ、軽く拭き取ってください。

⚠ 注意

●電動車は電気製品です。水洗いは絶対にしないでください。配線がショート（短絡）し、故障を起こす恐れがあります。
特にハンドル部やスイッチ類などへ、水をかけないように注意してください。

●車体が水に濡れた場合はていねいに拭き取ってください。そのまま放置しますと故障の原因になります。

補足

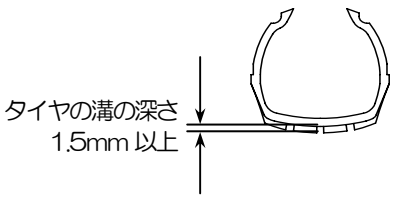
電動車は電気製品です。
水洗い・高圧洗浄・スチーム洗浄などで、水や蒸気を本体に直接かけることは故障の原因となりますので、絶対にしないでください。

■ 保管のしかた

●保管場所は、雨・露のかからない乾燥したところを選んでください。
●直射日光が当たる場所は、避けてください。
●火気は、絶対に近づけないでください。

タイヤの保守・点検

・ノーパンクタイヤ仕様車は空気圧の調整が不要です。
・摩耗による交換（摩耗の目安は溝の深さ1.5mm まで）は（お買い上げの）販売店にご相談ください。



エアータイヤ仕様車の場合
・タイヤの空気圧は、常に適正にしてください。
タイヤの空気圧――２００～２２０ｋPa（2.0～2.2ｋｇｆ／ｃ㎡）
・空気入れは、自動車用かオートバイ用を使用してください。

※エアータイヤは空気圧が低下すると、著しく走行距離が短くなります。

定期点検

点検箇所	点検内容	毎日	毎週	3ヶ月
ハンドル	ねじのゆるみ、ガタはないですか	○		
	ハンドル操作はスムーズですか	○		
バッテリー	バッテリーメーターの残量表示は適正ですか	○		
	バッテリー端子のゆるみ、はずれはないですか			○
	バッテリーはキッチリと固定されていますか			○
アクセルレバー	作動にガタ、ゆるみはないですか	○		
	アクセルレバー操作で正常に走行できますか	○		
スイッチ類	キースイッチは正常に作動しますか	○		
	前・後進切替ツマミは正常に作動しますか	○		
	速度調節ツマミは正常に作動しますか	○		
	ブザースイッチは正常に作動しますか	○		
	手押しスイッチは正常に作動しますか	○		
	ウインカースイッチは正常に作動しますか	○		
	ウインカーのオートキャンセル機能は正常に作動しますか	○		
	コーナリング減速機能は正常に作動しますか	○		
	停車時のオートハザード機能は正常に作動しますか	○		
タイヤ	エアータイヤ仕様車の空気圧は適正ですか 200～220kpa (2.0～2.2kgf/cm^2)		○	
	釘のささり、亀裂、損傷等はないですか	○		
	摩耗していないですか			○
その他	オイル漏れはないですか			○
	平坦路でアクセルレバーから手を離して1.5m以内に停止できますか	○		
	異常な音はないですか	○		
	コネクタ類、接続部ゆるみ、損傷等はないですか			○
	ねじはゆるんでいませんか		○	

※　1年に1度、（お買い上げの）販売店で定期点検してください。（有償）

⚠ 注意

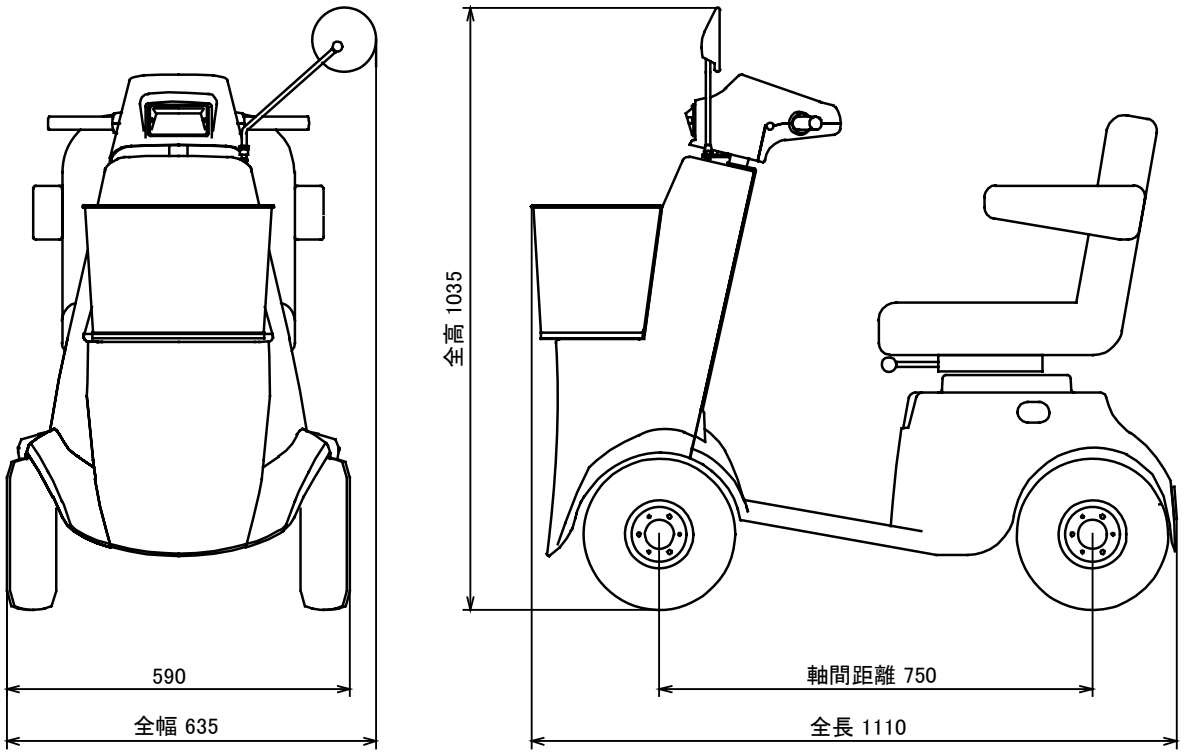
●改造は、事故・故障などの原因となりますので、絶対にしないでください。

外観・電気配線図

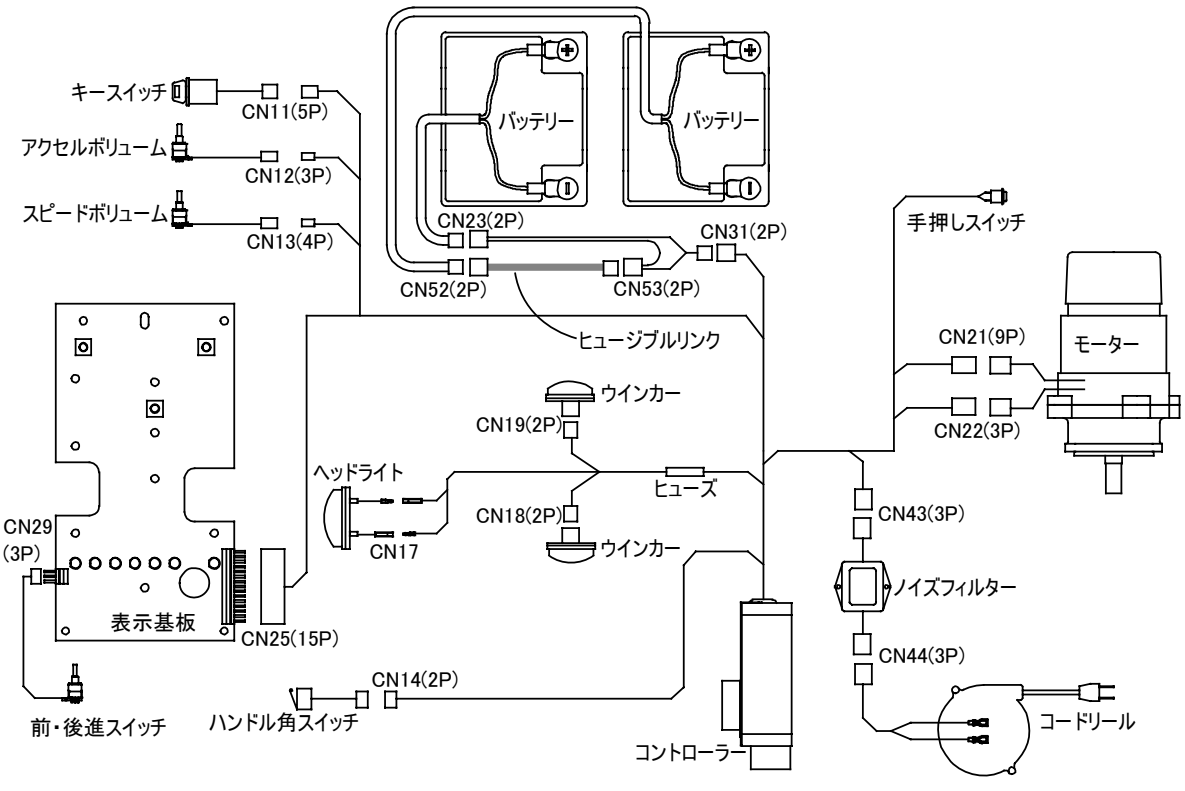
■ 外観図

単位：mm

SPX−4300N



■ 電気配線図



主要諸元表

製造業者の型式		ＳＰＸ－４３００Ｎ
製品の呼び方		ハンドル形電動車いす 回転性能１．２M形（タイプⅠ）
寸法	全長	１１１０mm
	全幅（ミラー除く）	５９０mm
	全幅（ミラー含む）	６３５mm
	全高	１０２５mm
重量（バッテリー含む）		６６ｋｇ（エアータイヤ仕様） ６９ｋｇ（ノーパンクタイヤ仕様）
駆動モーター（３０分定格出力）		DC２４Ｖ　６００W×１個
バッテリー	形式・使用個数	ＨＣ２４-１２×２個
	電圧	１２Ｖ
	5時間率容量	２０Ａｈ
充電器		本体内蔵マイコン制御方式・家庭用ＡＣ１００Ｖ使用 （新品バッテリー１００%放電時6時間で充電）
前輪		３．００－４－４ＰＲ × ２個
後輪		３．００－４－４ＰＲ × ２個
駆動方式		後2輪駆動（デファレンシャル付）
制動方式		モーター発電制動・電磁ブレーキ
操舵方式		バーハンドルによる前輪操舵
制御方式		アクセルレバーによるマイコン無段階速度制御
シート構造および寸法 （幅×奥行×背もたれ高さ）		クッション式固定シート ４００×３５０×３９５mm
最高速度 ※1	前進	６．０ｋｍ/ｈ
	後進	２．０ｋｍ/ｈ
実用登坂角度		１０°
連続走行距離　※2		２５ｋｍ
最小回転半径		１２５０mm
段差乗越高さ		８０mm以下
溝乗越幅		１５０mm以下
使用者最大体重（積載物を含む）		１００ｋｇ

※1．最高速度の試験方法は、ＪＩＳ Ｔ９２０８：2009　１１．１．１による。

※2．連続走行距離は、下記の条件でバッテリーを１００%放電するまで走行したときの値です。
・気温 ２２℃　・満充電の新品バッテリー　・平坦路
・最高速度（６ｋｍ/ｈ）　・使用者最大体重（１００ｋｇ）

※3．上記の諸元は、改良のため予告なく変更することがあります。

静的安定性試験結果

評価項目	結果
後方安定性	20°
前方安定性	20°
側方安定性	15°

ＪＩＳ Ｔ9208：2009　11.1.6 で定められた条件での試験結果です。

動的安定性試験結果

評価項目	結果
斜面上での側方に対する動的安定性 （最大傾斜角度）	10°
円旋回での側方に対する動的安定性 （最小半径）	2．0m
急激な円旋回での側方に対する動的安定性 （適合性）	適合
前向き段差乗り上げ時における動的安定性 （最大段差高さ）	50mm
斜め段差降り時における側方の動的安定性 （最大段差高さ）	50mm
前進最高速度での段差乗り上げ時における前方に対する動的安定性 （最大段差高さ）	50mm

試験条件

・使用者の体重・・・１００ｋｇ

・転倒防止装置・・・なし

ＪＩＳ Ｔ9208：2009　11.1.14 で定められた条件での試験結果です。

お買い上げ日　　年　　月　　日

異常箇所	処置
／	
／	
／	
／	
／	
／	
／	
／	
／	
／	
／	
／	
／	
／	

memo

memo

memo

バッテリーに関する注意事項

①バッテリーは**必ず満充電**になるまで充電してください。（充電完了ランプが点滅していることを確認してから、充電プラグをコンセントから抜いてください。）

②**充電途中でコンセントを抜いたりして**、バッテリーが満充電でない状態でご使用になることを繰り返しますと、バッテリーの**劣化が早く**なり、バッテリー寿命が通常より**さらに短く**なりますので、充電の中断はせず、必ず満充電まで行ってください。

③バッテリーの充電は、必ず電動車本体に内蔵している**充電器を使用して、火の気のない、風通しの良いところ、雨露のかからないところで、必ず満充電になるまで充電してください。**内蔵充電器以外のものをご使用になりますと、充電できなかったり、バッテリーを傷める恐れがあります。

④タイヤの空気圧が低いと、**消費電力が増えるために走行距離は短くなります**。定期的（１週間に１回）にタイヤの空気圧を点検してください。

⑤坂道や、段差の多いところでの走行は、平坦路に比べてバッテリーの**消費電力が大きいので走行距離は短くなります。**

⑥冬季など気温の低い時（目安は5℃以下）はバッテリーの働きが弱まり、走行距離が短くなります。

⑦バッテリーは正しく使用していても徐々に**性能が衰え**、新品時に比べ**走行距離は短く**なります。

⑧同じような使い方をしていても、**バッテリーメーターの減りが早く**なってきたり、走行できる**距離が短く**なってきた時（目安は走行距離がバッテリー新品時の半分程度）は、**バッテリーの交換時期**と思われますので、（お買い上げの）販売店にご相談いただき、はやめに純正のバッテリーに交換されることをお勧めします。そのまま使用しますと**急激に走行距離が短くなる場合**があります。（純正以外のバッテリーは使用しないでください）

⑨バッテリーは使用しなくても**徐々に残量が減って**いきますので（自己放電）、ご使用にならないときでも定期的（１ヶ月に１回）に充電してください。

製造元

福伸電機株式会社

［本社］
〒679-2288　兵庫県神崎郡福崎町福田 447-1
TEL.0790-23-0812(代)　FAX.0790-23-0508

販売元

株式会社カワムラサイクル

■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町 1-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒564-0044	大阪府吹田市南金田 2-20-10	TEL06-6190-8488
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原 1-18-3	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場　■メンテナンスセンター

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

2012.04 版